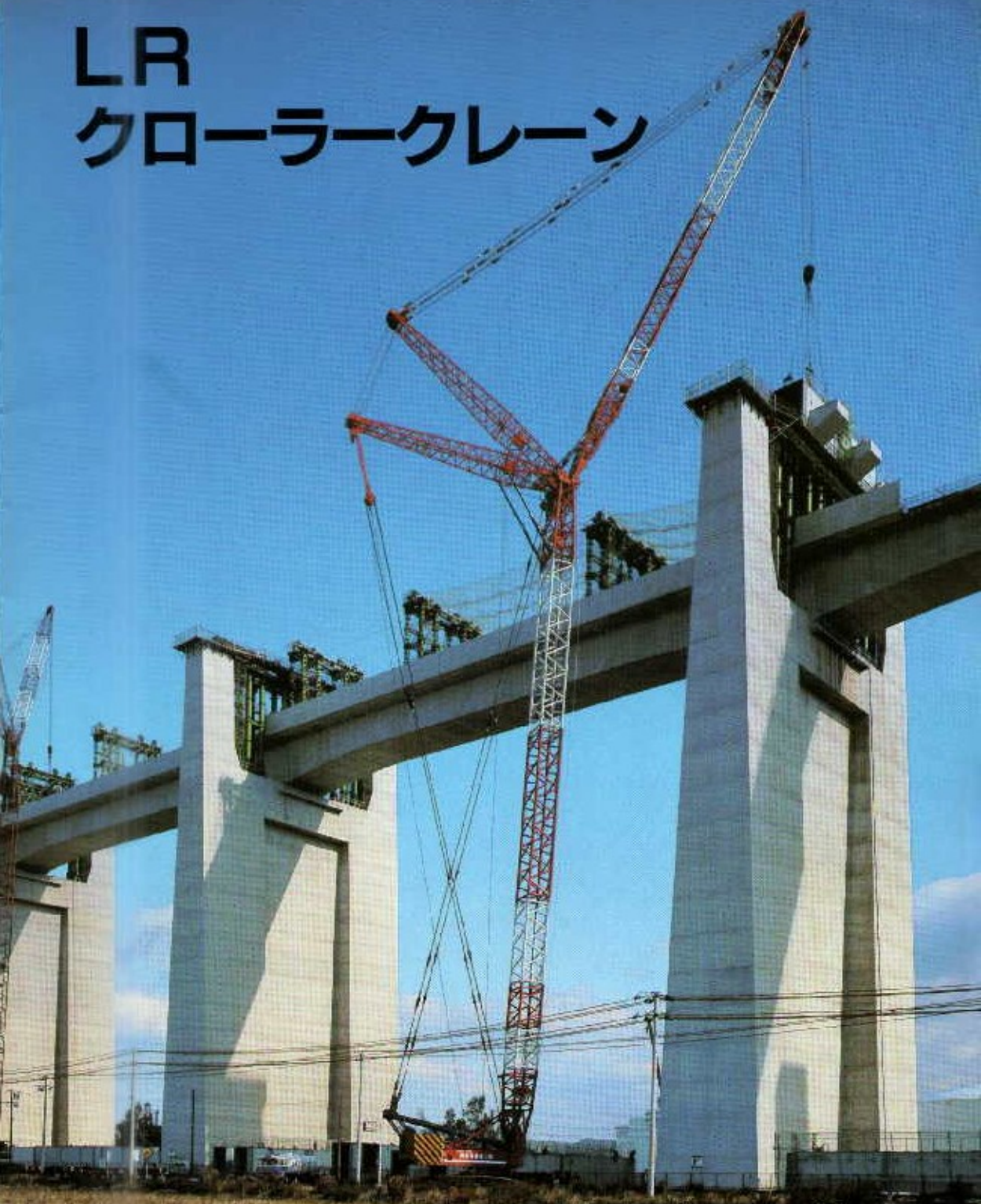


LR クローラークレーン



LIEBHERR

明日のクレーンを考えるリープアー

モービルクレーン及びトラッククレーンのトップメーカーであるリーファーは、荷重吊上げ能力250tから1000tまでの大型クローラークレーンも製造・販売しています。

L R型クレーンの主要な特徴の一つは、どんな操作条件にも正確に対応できるモジュール式ブームとジブ装置を持っていることです。

これらクレーンの設計にはあらゆる点で綿密な配慮がなされており、荷重吊上げ能力は格段に向上し、運転はさらに容易になり、理想的な安全性が得られます。

250tの吊上げ能力を持つL R1250は、L Rシリーズでは最少のクレーンです。ノルウェーでは主に掘削プラットフォームの組立てに使用しています。この種の作業では荷重を吊った状態で移動することが多く、リーファークローラークレーンの走行性能と運転性能が最も真価を発揮するときです。

モジュール式ブーム／ジブ装置の一つに、ラチス構造のメインブームとブライジブとを組合せたものがあります。この装置はフック2個で作業できます。



荷重吊上げ能力500tまでのクローラークレーン



L R1500は、最高300tまでの荷重吊上げ用に設計されていますが、モジュール式ブームにサブジョンのデリックとカウンターウェイトを装備すれば、吊上げ能力は150%増大します。

旋回プラットフォームとブームは、既に数多くの大型モービルクレーンに使用されて素晴らしい性能を発揮しているものと同じです。これらは完全に互換性がありますが、トラックシャーシに合わせた仕様も可能です。カウンターウェイトの吊上げ動作は電子の目で監視されており、さらに別のモニター装置が荷重とカウンターウェイトとの間の平衡を絶えずチェックしています。

ブライジブとデリックブーム装置もL R1500に利用できます。これらを装備すると、ずっと大型のクローラークレーンに比肩する荷重吊上げ能力が得られます。

ペロオリゾンテ（ブラジル）のメンダス・ジュニア社は、リーファーの400tクローラークレーンを主に海洋構造物組立てに使用しています。この写真では、バンボPFM1個削り加工の360tラチス構造物を4台のクレーンが合い吊りしています。77m大型ブームと35mブーム付きのデリックブーム装置により、クレーンの最大吊上げ能力は半径18mで、60tから90tにそれぞれ増大します。



モービルクレーン装置



L R 1850は、650 tクラスのクレーンの設計コンセプトを一貫させました。

このシリーズの他の機種と同様に、L R 1650はモジュール式ブームを装備しており、輸送、吊上げの両面で効率的部材の構成を実現しました。設計上の特長は次の通りです。

輸送重量軽減のためモジュール式クローラー軌道の採用。総重量700 tまでの走行が可能。進走行制御装置付きの独立油圧駆動装置4台、走行制動用のクローズドオイルサーキット、クレーン運転と走行の同時操作。大容量ロープを使用する互換性のある同型ウィンチ4基、メインブーム、ゲリック / フライジブ (S J B N) 操作モード用の5番目のウィンチ、高所に吊上げる時に使用するマスタースイッチによるウィンチ2基の電子平行制御、クレーン走行用のクローズドオイルサーキット、メンテナンスフリーの多板ディスクブレーキ装置、旋回部と走行装置を切り離すためのクイックリリース装置、ブーム用の簡易取付け式ガイロッド、補助ウィンチによる操作ロープの簡単な取付け。

以上のように、L R 1650はあらゆる面で従来の設計を凌駕しています。

荷重吊上げ能力1000 t以上のクローラークレーン

作業半径50m、吊上げ能力365t、最大荷重モーメント19,000t・m以上のLR1600は、1984年オンタリオ・ハイドロ・マニュファクチャージャ向けに製造された時には市販のクローラークレーンとして最も大型であり、カナダCSA規格による品質管理計画に基づいて製造されました。700tの懸垂式カウンターウェイトを付けてフル装備すると、クレーン重量は1,700tになります。

LR1600は、発電所建設現場で作業半径50mで運転され、256t熱交換器を発電所建物内の43mの高さまで吊上げました。

ほぼ垂直方向に取付ける大型ブームによりデリックブライジの作業高さは増大し、極めて狭い場所でも荷物を吊上げることができます。

